

福居

vol.119

福井商工会議所青年部会報

発行日/平成31年3月16日

発行者/五十嵐 嘉紀 編集者/森 淳一郎

発行所/福井商工会議所青年部 総務・PR委員会
福井市西木田 2-8-1

TEL:0776-33-8253 FAX:0776-36-8588



- ・会長あいさつ 2
- ・平成 30 年度 YEG 活動報告 3
- ・福井 YEG 特集 13
- ・卒業生の言葉 16
- ・平成 30 年度委員長コメント 18
- ・2019 年度会長抱負/委員長抱負 21
- ・組織図/会員企業一覧 25
- ・新入会員紹介 27
- ・あじさい会通信/結婚・おめでた・西木田通信 . . . 30



Evolution

～ YEGism の実践～



福井商工会議所青年部
平成 30 年度会長

五十嵐 嘉紀

YEG に入会して 22 年、今年度ほど YEG のことについて、深く、真剣に向き合い、考えたことはない 1 年でした。このような状態で今日のこの日まで会長職として走り続けてきたかと思えます。今年度は、Evolution ～ YEGism の実践～をスローガンに、YEG を発展、成長させるには、3 つの進化が必要と考え取り組んで来ました。会長就任にあたり、YEG メンバーが、年齢や経験、企業規模など、それに囚われないバイブル（＝基本方針）が必要と考えていました。YEGism としたのは、メンバー個々が活動しているコミュニティにも還元できるものとして、3 つの進化の考え方や取り組み方などを実践の場で継承してもらいたかったからです。要は、YEG で 1 年間取り組んできたことが、汎用性のあるものでないと意味がないと思ったからです。次年度 45 周年を迎えるにあたり、YEGism を考える為に、ひとつづくりという、専門の委員会をつくり 1 年間かけて十分に考える土台をつくりました。

3 つの進化とは、1 つ目の「個の進化」は、自分自身が常に勉強し、磨いていく姿勢、2 つ目の「組織の進化」は、自分と違ったスキルを持ったメンバーを真の意味で仲間と認め、一人では解決できない難しい課題にチームとして対応できる姿勢、3 つ目の「コミュニティの進化」は、個々のメンバーが地域との協働をさらに発揮し、福井のまちを盛り上げていくことによって、新たな動きをつくり、福井を活性化させ地域に還元させる姿勢。

3 つの姿勢を備え、体現することによって、「人と人、人と地域を繋げ、そして、地域に更なる進化 (Evolution) を促す人材」＝ハブ人材として活動し、あらゆるコミュニティの最先端に立ち、福井を牽引できうる人材として活躍できる人材を福井 YEG で担いたかったからです。

YEG 事業においても、Evolution 「進化」を合言葉に、特にホームページや YEG 動画に力を入れ、福井 YEG の認知度アップに力を入れました。まちづくりにおいても、「馬威し水かけ祭り」の規模拡大や「まちキッズふくい 2018」の違った視点での 2 部開催。キャリア教育においては、これまで行ってきたキャリア教育を検証するうえで、キャリア教育コーディネーターの全国大会と事業を併催し、福井 YEG におけるキャリア教育がどのように見られていて、全国的にはどのようなことに取り組んでいるのかを知るよい機会を頂きました。ビジネスにおいても、イノベーター的視点、お互いを認め合い活かしあう、ダイアログの視点、今最先端の SDGs からビジネスと社会環境の変革を考える視点を学びました。新入会員が行いたい例会として、ドラッカーから学び、YEG の未来を考えました。

会長として、全ての事業に参加しましたが、それを支えて頂いたのは、副会長をはじめ、委員長、副委員長、メンバーの皆様のおかげです。私の人生における貴重な経験になったことは言うまでもありません。この経験を糧に、更なる福井 YEG の発展の為に恩返ししていければと思います。1 年間、本当にありがとうございました。



平成30年度活動紹介

第33回ふくい桜まつり

平成30年4月14日（土）第33回ふくい桜まつりに参画致しました。

ふくい春まつり実行委員会では、「たのしみは、ふくい。」のテーマのもと、今回より新たに「ふくい桜まつり」と名称を変え、平成30年度の福井国体、平成32年度のオリンピック、平成34年度の新幹線開業を見据えて、この5年間を福井の春として福井への誘いを打ち出す絶好の機会とし、福井の春の魅力を磨き上げる見直し・強化期間と設定された福井の新たな春のお祭りとして模様替えが行われ開催されました。

ふくい桜まつりの強化のポイントとして、福井の桜のブランディング、越前時代行列の魅力向上、おもてなし環境の整備が挙げられました。

福井YEGでは参画企画として「お堀の桜舟」「桜カフェ」「桜の足湯」という3つの企画を柱に参画致しました。

昨年度で山里口御門の復元工事が終わり、お堀の中で福井YEGが開催していたお堀の桜舟も4年ぶりに復活し、当初予定していた運航本数よりも増やして船を運航し120名のお客様に乗船して頂きました。お堀の内側から見る景色に乗船さ

れたお客様もとても貴重な経験ができたとお声を頂き、特にお子様の参加者からはボートを漕ぐという体験を大変楽しそうに参加して頂きました。また、舟をお借りした九頭龍ドラゴンボート協会様からも多くの方にご参加頂き、当会員とも新たな交流が生まれた新しい事業になりました。

桜カフェでは会員の御素麺屋様より桜饅頭、大吉餅様から桜餅を取り寄せ、フリードリントクスタイルとし、全国的に珍しい桜珈琲を取り寄せ、来場されたお客様の心を癒す空間をつくる事ができました。桜の足湯では会員の中川鉄工様から協力を頂き、オリジナルの五右衛門風呂を作製してお湯を沸かし、ふくい桜まつりに賑わいを演出致しました。

時代行列の参加者の方々とも企画を通じて桜カフェにて休憩をして頂いたり、桜船に乗船頂き、多くの来場者が訪れる笑顔の絶えない事業となりました。



4月総会

平成30年4月18日（水）、福井商工会議所ビル地下国際ホールにて、近畿ブロックYEG出向者の宮田由紀恵君によるYEG宣言のもと4月定期総会を開催しました。4月定期総会は平成29年度の活動を総括すると共に、福井YEGが新体制と

して平成30年度をスタートするための重要な場です。本総会には福井商工会議所より川田会頭、高見常務理事・事務局長、地域振興部の春日野部長と地域事業課の岡田課長、そして福井県商工会議所青年部連合会より野村会長（大野YEG）に列席いただきました。

川田会頭からは「私たちを取り巻く環境は国内外で大きくかつスピードのある変化をしており、変化を見据えて、連携して進化していこう」と心強いお言葉を頂きました。そして新入会員4名の紹介が行われた後、総会審議に移りました。本総会では第1号議案から第4号議案が上程され、慎重審議により、原案どおり可決承認されました。議案審議後、平成29年度北出会長より退任の挨拶が行われ、1年間の活動を振り返りながら、会員全員に感謝の言葉を述べられました。北出会長、1年間本当にお疲れ様でした。

最後には、福井県商青連野村会長よりご挨拶をいただきました。

福井県連として、2019年度には大野市にて近畿ブロック大会、2020年度には鯖江市を中心に全国大会を開催します。県連としてのますますの結束を心に、定期総会は無事に閉会しました。



4月度例会

平成30年4月18日（水）、4月定期総会に引き続き、福井商工会議所ビル地下国際ホールにて、総務・PR委員会（森委員長）担当の4月度例会を開催しました。

4月度例会のタイトルは「会員拡大Evolution」。平成30年度スローガン「Evolution」YEGismの実践」を会員拡大の面で実践していくために、会員拡大で目覚ましい成果を上げている会員から高い意識やノウハウ等を学ぼうと、パネルディスカッションを行いました。森委員長がコーディネーターを務め、天野副会長、山岸監事、北出直前会長がパネラーとして登壇。三者三様の個性豊かなトークで会場を盛り上げ、会員拡大に対する想い、各人が考えるポイントを伝えていただきました。

その後、平成29年度の会員活動に対する事業考査室表彰、執行部表彰が執り行われ、最後に平成30年度の6名の委員長より所信表明を行いました。各委員長が所信を述べる姿からは、しっかりとした強い信念が感じられました。そして全員で集合写真を撮って閉会。



無事に平成30年度最初の例会を終え、今年度も順調なスタートを切ることができました。

5月度例会

平成30年5月23日に福井商工会議所地下コンベンションホールにて5月度例会「福井YEG轍」WADACHIの始まり」を開催しました。

福井YEGキャリア教育事業である、アントレ・キッズやインターシップなどの事業を構築していくなかで、講師を「頼まれたから」または「数が足りないから」など受動的な取組みになっていないか。また、長年取り組んできた中でキャリア教育事業の重要性や必要性を正しく理解できていない会員も増えてきているのではないかと感じ、キャリア教育の現状を知り、能動的な共通認識を持つて、福井YEGとしてこの事業に今後も取り組んでいく基礎を再度作っていく必要があると、今例会を開催しました。

キャリア教育事業の歴史を映像で振り返り、先輩方が構築してきた事を学びました。そして、講師に福井市教育委員会事務局 学校教育課の富島氏・キャリア教育コーディネーター翁長氏をお招きし、富島氏には「福井市がキャリア教育に対してどのように取り組んでいるか」を、翁長氏には「全国でのキャリア教育の現状」の実例を交えながらご講話頂き、福井市、全国でのキャリア教育の取組を学ぶことが出来ました。

それらを踏まえ、会員がキャリア教育事業に能動的に取組んでいくためにはどうしたらよいかをグループワークにて考え、意見を出し合いました。

本年度のキャリア教育事業に繋げていけたと思っております。

6月度例会

平成30年6月27日にビズレボ委員会による6月度例会「時代を生き抜くためのイノベーター視点とビジネスモデルの構築」を開催しました。

時代変化のスピードが増していく現在、既存のビジネスの発展や新規事業化を展開していくにあたって、時代の潮流を読み、どういった視点で社会変化に対応した事業を構築するのが重要です。そこで本例会では、イノベーター視点や、0から1を作るような事業化アイデアやプロジェクト化していくスキルや手法を学びました。

講師はGOB Incubation Partners 株式会社山口高弘氏。自身の起業経験やコンサル先の実例なども交えながら、いかにすぐれたWild idea（破壊的アイデア）を生み出せるか、そのWild ideaを売れるものにするためにはどうするとよいかなどをお話しいただきました。

今回、講師の方には十二分にお話しただくた



め、例会の時間を通常より30分長くしましたが、オプザーバーも5名参加され、会員にとって学ぶことの多い実りある例会となりました。



7月度例会 平成30年度YEG交流事業 〜絆を深めるスポーツ大会〜

平成30年7月28日(土)、すかつとランド九頭竜にて武生YEGの皆さんとともに「平成30年度YEG交流事業」絆を深めるスポーツ大会」を開催しました(福井YEGは7月度例会と兼ねる)。スポーツやBBQを通じてメンバー相互の絆を深め、組織力・団結力のスキルを向上することを目的として多数の方に参加頂きました。本例会には、平成30年9月29日から福井で開催された「福井しあわせ元気国体」「福井しあわせ元気大会」の参加選手にもお越しいただき、一緒に競技を体験させて頂く貴重な機会となりました。種目はバドミントン・車椅子バスケットボール・卓球バレーの3種目です。実際に活躍されている選手の皆様には手も足も出さず…。また実際の競技の難しさ、楽しさを全身を使って経験することができました。さらにチーム一丸となつて戦つたことは非常に楽しく、一層の親睦を深めることができ、プレー

以外の時間では、アイスブレイクの手法を使ってお互いのことをさらに知っていく取り組みも行いました。

運動会の後は総務・PR委員会によるBBQ大会を開催し、さらに親睦を深めました。豪華景品が出たこともあり盛り上がり過ぎて頂き、YEGメンバー同士の絆を実感頂けたと思います。



福井フェニックスまつり参画事業

8月4日(土) 第65回福井フェニックスまつりにおいて「馬威し水かけ祭り2018(8月度例会)」を開催しました。

かつて福井藩では正月に、武士が馬を駆つて目的地に進むのを町人が馬を威して妨害する「馬威し」という行事が開催されてきました。それを現代風にアレンジ。スタートからゴールまで駆け抜ける側と沿道から水をかけて妨害する側に分かれ、激しい攻防を繰り広げます。

今年は昨年度とコースを変え、福井フェニックスまつりメインステージの福井放送会館前をスタートし佐佳枝廻社境内をゴールとした全長約3

50メートルのコースです。沿道から水鉄砲やバケツで水を掛けられるだけでなく、今年は巨大放水車も登場するなど水かけの内容も昨年度から大きくパワーアップしました。

水かけ祭り当日は気温36度と絶好の水かけ日和となり、思いつきり水をかけてかけられて猛暑を吹き飛ばそうと約150名もの参加者が集まりました。

レースは3部門で開催しました。

◎誰よりも早くゴールまでたどりつくことを競う「レース部門」

◎友人や同僚と思いいいに走る「エンジョイ部門」

◎家族で参加する「家族部門」

福井放送会館の前からスタート。スタート直後からバケツで大量の水かけ。その先では巨大プールによる障害物。それを乗り越えた先に待っていたのはなんと巨大放水車、放水機による本格的な放水!これには参加者もびっくり!!最後は、階段を駆け上がり佐佳枝廻社境内のレッドカーペットを駆け抜けてゴールとなりました。最後まできつちりバケツと水鉄砲で水をかけられます。

非常に多くの方にご参加いただき、「楽しかった」「また出たい」という声をいただきました。ありがとうございます。

また、周辺の商業施設、駐車場など多数の方にご迷惑をお掛けしましたが、多大なるご協力をいただき、ありがとうございました。皆様のおかげで、無事に水かけ祭りを開催できましたことに感謝申し上げます。



えきまえアントレ・キッズ

8月18日(土)、11回目を迎える「えきまえアントレ・キッズ」を開催しました。

まちづくり福井(株)様主催、福井商工会議所青年部共催による、福井駅前周辺の実店舗において小学校5・6年生の児童たちに就業体験を通じて、働く意義を知り、仕事への夢を持つてもらい、また中心市街地への親しみと新たな発見を目的とした事業です。今年度は企業店舗数24店舗(福井YEG含む)にご協力をいただき、親子約120組が参加しました。

開校式では参加する児童たちに向けてマナーや挨拶の大切さを伝え、それぞれ体験する店舗へ出発です。今回は青年部メンバーに加えて、まちづくり福井(株)の社員の皆さまも児童の引率スタッフとしてご協力いただきました。主催と共催でがつちりと協働できました。

体験先店舗では、実際のお客様への対応、お店の裏側の作業を体験するなかで、子ども達の真剣な表情や多くの笑顔を見ることができました。最初は緊張しているようでしたが、楽しく体験している姿を見ると嬉しく思います。認定証を受け取って体験終了。閉校式ではお父さんお母さんに楽しそうに話す子ども達の様子を私たちの疲れも吹っ飛びます。大きなトラブルもなく終了し、「また参加したい」といったお声を多数いただきました。

主催のまちづくり福井(株)様との打ち合わせでは役割分担するだけでなく、えきまえアントレ・

キッズをしつかり継続できる形を共有することに努めました。そして、能動的にご協力いただける店舗の皆さまと一緒にこれからも継続できると実感いたしました。

最後になりますが、ご協力いただいた店舗・企業の皆さま、青年部メンバーの皆さま、ありがとうございました。心より感謝いたします。



夏期キャリア教育事業

福井県経営者協会が毎年開催している「ふくいインターンシップ」に、今年もYEGとして参画しました。昨年同様、どの様な規模の会社でも参加できる1コース2〜3社持ち回りの短期受け入れ可能な手法で、「企業コンサルティング業界が分かるコース」「総合建築業界が分かるコース」「イベント業界が分かるコース」を設えました。

企業ガイダンスにおいて、理想の生活が期待できる企業選び就活より、将来の暮らしを意識した就活が大切だと熱く語ると、多くの学生が興味を示し、その場で参加表明する学生まで現れました。説明会では参加学生に趣旨説明を行った後、まず



は「数年後のビジョン(理想の仕事の姿)(将来、個人の生活)」を記入してもらいました。インターンシップ中には「チェックシート(企業で働く大人たちの姿)」を記入しながら確認、最後の懇親会では「10年後のビジョン(理想の仕事の姿)(将来、個人の生活)」を記入してもらい、それらの内容をすべて含めて「私は福井の〜業界に就職し、10年後こんな暮らしをしています。」というテーマで学生全員に2分間スピーチを発表していただきました。発表後、学生たちからは「暮らしをイメージする事で企業を選ぶ基準が変わった。」「業界という視点で企業を見ることで、企業の幅が広がった。」「説明会で記入した「数年後のビジョン」と終了後の「10年後のビジョン」を振り返る事でインターンシップ前後の意識の変化を確認できました。」など活発な意見がもらえました。

事業終了後も学生との交流を継続した結果、県外の就職を考えていた学生2名から福井で就職すると報告をもらい、インターンシップ事業は中小企業の抱える人材不足を打開できる取り組みだと確信しました。

9 月度例会

平成30年9月26日(水)「組織の進化を考える組織の在り方とダイアログ」を開催しました。9月度例会では、個人の資質向上に加えて、会員企業の「組織の進化」を促す例会を開催すべく、6月度例会後3ヶ月熱い議論を交わしてきました。

組織の進化の前に、組織としてよりよい状況、良い環境づくりがビジネスを進化させると考え、気軽に意見を言い合える、良い関係づくりをいかに生み出せるかを考えました。

例会第1部の講義では、実際の職場環境でおこる様々な事例や、手法についてお話しいただき、会員一人一人が、各人の解決策を見つけていただければと思います、組織論や組織環境作りの専門家である、甲南大学経営学部教授の北居先生をお招きし「変化の時代に求められるダイアログ型組織」というタイトルでダイアログや様々な手法で解決した事例などを講義いただきました。

第2部では、講義の内容を踏まえ、テーマをもとにディスカッションやダイアログの違いテーマに沿った使い分け等を実際の現場で会員が持ち帰って実践できるよう、デモンストレーションを行い、会員全体で共有する予定でしたが、1部終了の質疑応答で、実際の会員の現場では今も事件が起こっている!! 解決策を模索している会員がとても多い事が判明、急遽委員長長の独断で、例会プランを変更することに(笑)

変更後では、第1部での気づきや学びの共有、そして今の社内状況など対話いただき、質問では、

実際の現場の状況を挙げていただきながら、解決方法を即興で先生に答えていただくという、いきなりすごい展開に、会場もどっとわきました。会員の皆様は、会社組織に属しさらに、経営の面も持っている会員が多い為、今回の講義は、会員企業のビジネスを進化させるきっかけになったかと思えます。



第36回近畿ブロック大会
播州かさい大会

平成30年9月29日(土)、兵庫県加西市で開催された日本商工会議所青年部 第36回近畿ブロック大会 播州かさい大会に参加しました。当日は「福井しあわせ元気国体2018」の開会式と同じという事で、福井YEGからの登録者は26名でしたが、武生YEGさんとバスを相乗りすることとなり、加西市までの長距離移動は大変賑わいました。ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。

「志士奮迅 かさいへ集え! 地域を愛する者たちよ! これがYEG魂だ!」をテーマに開催された今大会。全体の登録者数は1550名を数えました。記念式典、記念講演、分科会、物産展に各

会員が参加。その後の大懇親会は鶉野飛行場跡にて屋外開催でした。朝から雨模様のお天気で足元も悪く、また台風24号の影響で大懇親会の時間は短縮となりましたが、近畿ブロックのメンバーは元より、全国より集まったメンバーとしっかり交流することができました。さらには長距離バスでの日帰り日程だったため、福井YEG内はもちろん武生YEGさんともメンバー間で深く交流することができました。

また、大懇親会では大野YEGさんによる、来年度の近畿ブロック大会大野大会のPRも行われました。福井YEGとしても大野大会の成功に向けて盛り上がっていきましょう! 結情(ゆいじょう)MAX!!



「新入会員オリエンテーション」および
「2020年度全国大会ふくい
鯖江大会説明会」

平成30年10月17日(水)、福井商工会議所ビル地下国際ホールにて、「新入会員オリエンテーション」および「2020年度全国大会ふくい鯖江大会説明会」を開催しました。

まず第一部として、新入会員オリエンテーションを開催。新入会員を対象とし、福井YEGのこれまでの取り組みや日本YEG、福井県連との関わりを知っていただくとともに、福井YEG会員としての心構えを醸成することを目的として、毎年開催している事業です。最初に総務・PR委員会の森委員長より、自身の体験も交えながらYEGという組織の概要について説明を行いました。続いて、新入会員と近い立場の先輩から言葉をかけてもらおうと、昨年度新人賞を受賞した2年目会員の増田悠二君より「YEG活動の心構え」を直伝。それらを踏まえての新入会員からの質問タイムでは、日頃疑問に思っていることなどについて率直な質問が次々と出され、先輩会員達が順に回答していききました。新入会員にとっても既存会員にとっても、活動に対する気持ちを新たにするために大変有意義な機会となりました。

続いて第二部として、「2020年度全国大会ふくい鯖江大会説明会」を開催しました。まずは福井県商工会議所青年部連合会野村会長（大野YEG）より、県連として全国大会に積極的に関わっていくこと、つまり鯖江YEG以外の単会も主眼地であるという意識で関わっていくこと、力強い挨拶がありました。その後、鯖江YEG久保田監事、福井県連全国大会準備委員会の園委員長、全国大会「ふくい鯖江大会」大会会長予定者の西村君、鯖江YEG笠島会長より、全国大会の開催概要やこれからの準備に向けた説明などが行われました。全国から一人でも多くの仲間がこの地を訪れてくれるよう、福井県連がひとつになって全国大会に取り組んでいこうと、熱いメッセージを頂き、我々福井YEGも全国大会の成功に向けて

の想いを強くしました。

今回の事業を通じて、参加された新入会員らがさらなるEvolution（進化）を果たし、全国大会に向けて活躍することを確信しました。新入会員のこれからの活躍が楽しみです。

10月度例会



結紮凛々委員会では平成30年10月度「自己研鑽例会」を構築、開催致しました。入会後に新入会員が配属される委員会ということもあり、まずは新入会員がYEGの事業や周りのメンバーを知り、それぞれの個性を活かして今後のYEG活動にどう貢献していけるかを考える、ということを目指とした例会でした。

講師には多方面に渡るコンサル業務で実績をあげられている中部商事有限会社 名節弘康氏（岡崎YEG所屬）をお招きし、前半に「組織におけるドラッカー論」についての講話、後半はYEGにおけるセルフマネジメントのきっかけづくりとして、「組織を知るには先ず人を知る」をテーマに、事前に当委員会以外の委員会へのオブザーバー参加や既存メンバーへのヒアリングなどを重ね、各委員会のメンバーや事業など福井YEGについて得た情報をまとめてプレゼンしました。

ドキュメンタリー動画、パワポ、寸劇、ラジオ風など、チームの色を活かしたプレゼンは、形式としては正式なものではなかったが型にはまら

いイレギュラーさが逆に面白みを増し、既存メンバーからも嬉しい評価を頂けました。

例会後はメンバー間での団結力も生まれ、委員会や人、事業の魅力を知りながら、今後も楽しくYEG活動をしていく為のきっかけづくりになったかと思えます。

福井YEGは、この様な例会や事業の構築をはじめ、地域貢献やまちづくりなど、普段の仕事では得る事の出来ない経験や体験ができ、多くのメンバーとの出会いから様々な情報やビジネスチャンスをつかむ事が出来る最高の場所です。



第36回全国会長研修会 実り大き北の大地とかち帯広会議

平成30年11月8日〜10日の日程で開催されました「第36回全国会長研修会 実り大き北の大地とかち帯広会議」に参加しました。

今回の開催地テーマは「自力本願、地域の未来の為に、今こそYEG（われら）の情熱を！」。自らの力を信じ、自ら行動を示し、思いを同じくするべく全国の同士と、われらが地域の未来の指標のために今、実り大き未来への第一歩を切り拓く会議とするという想いが込められたテーマで

す。そのテーマの通り全国から志高い多くの同士の集まり、厳粛な雰囲気の中、式典が執り行われました。

式典に続いて、全体研修が開かれました。「自力魂 続ける、宇宙への挑戦!」失敗を乗り越え、ロケットに夢を乗せて」というテーマにて、インターステラテクノロジズ社創業者の堀江貴文氏、代表取締役の稲川貴大氏のお二方による講演が開催されました。お金を出せばできることではなくお金を稼いでもできないことを目指していきたい、自分が宇宙に行くことよりみんなが行けるようになる仕組みを作ることに興味がある、といった言葉に、生粋のベンチャー精神を感じました。また、参加者からLINEを使ってリアルタイムに質問を募集し、お二人に答えていただくというライブ感ある設えは、講演会に予定調和的でない双方のコミュニケーションを生み出し、とても興味深いものでした。

全体研修の後は、参加者全員での大懇親会。なんと4つの会場を中継し、同時進行で開催されました。北海道の美味しい食材やお酒でもてなしをしていただき、他単会のメンバーとも交流を深めることができた、大変充実した懇親会となりました。

翌日は、各分科会に分かれて研修。最後の閉会式では、2019年3月の全国大会宮崎大会のPR、次年度会長研修会長野大会のPRが行われ、今後へのバトンが確かに受け継がれていきました。

そして、その先には全国大会ふくい鯖江大会に繋がっていきます。今後の全国大会や全国会長研修会にも福井から多くのメンバーと共に参加する

ことでより一層日本中の仲間との交流を深め、来る全国大会につなげていきたいと心に誓いました。



11月度例会

11月17日(土)福井県教育総合研究所において、11月度例会を開催しました

いつもとは違う曜日、時間帯でしたが、キャリア教育コーディネーター全国大会と同会場で開催することで、得られることが多くありました。

12時からの交流昼食会では、YEGとキャリア教育コーディネーターが同じテーブルで昼食をとりながら、情報交換ができました。全国各地で活躍されているキャリア教育コーディネーターの取り組みに大変刺激を受けました。行政としっかり連携が取れている団体や、小生学向けのキャリア教育イベントを幾度も開催し行政連携にたどり着いた団体など参考になることが多くありました。私たち福井YEGの事例や取り組みを伝えることで、キャリア教育コーディネーターの皆さまに、それぞれ地元YEGとの連携の可能性を感じていただけたと思います。

基調講演では経済産業省の川浦恵氏による「人生100年時代の学び方と働き方」についてご講話いただきました。小中学校時代における社会人基礎力を土台としたキャリア教育に取り組む必要性や、キャリア教育・キャリア形成は働き始めてからもずっと続くことを理解、認識できました。また、中小企業の在り方やキャリア形成と従業員の流出との関係などについても触れられて、とても感銘を受けました。

全体会では文部科学省の長田徹氏による講演がありキャリア教育の本質について学びました。本質を理解することで、キャリア教育事業は形骸化やイベント化しないし、運営側も疲弊しないことが解りました。そして何より、キャリア教育は継続して取り組むことが大切なのです。福井YEG会員全員がキャリア教育の本質について学び、キャリア教育事業を継続していく意義を実感いたしました。

福井YEGとしてもまだまだできることはありますし、レベルアップできます。福井の将来のためにキャリア教育に取り組んでいこうと、その夜に開催されたキャリア教育コーディネーターとの合同打ち上げ反省会で再認識いたしました。



11月度ひとづくり事業

「コミュニケーションとYEGを

結ぶ人材発掘」

平成30年11月26日(月)、福井商工会議所コンベンションホールにて、11月度ひとづくり事業「コミュニケーションとYEGを結ぶ人材発掘」を開催しました。本事業は、五十嵐会長が掲げる3つの進化のうち、「コミュニケーションの進化」を正面から捉えたもので、コミュニケーションとの協働力を高めることを目的とするものです。

第1部では、福井YEGに所属しつつ他コミュニケーションで活躍している3名(円山CMB理事長の福田副委員長、ふくい片町青年会副会長の天野副会長、円山小学校PTA会長の吉村君)をパネラーとしたパネルディスカッションを行いました。皆様、YEGで培った、事業を構築する力、書面等を作成する力、異業種の関わり等が、他コミュニケーションで活動する際の大きな糧となっている旨話しておられました。続いて第2部は、自分自身のスキルや所属するコミュニケーションを知り合い、YEG活動が、他コミュニケーションでの活動においてどう役に立つのか、スキル獲得のためにYEGにおいてどのような活動をすべきか等について、グループ内で話し合っていました。

YEGに所属して活動すること自体が、他コミュニケーションの活動に参加するハードルを低くし、多方面で活動する素地となっていると思います。皆様、知らず知らずのうちにYEGとコミュニケーションを繋ぐハブ人材に成長されているのでしょうか。また、最後に、福井YEGのメンバーが製作

した「カニ出汁」と、円山CMBの「リゾット米」を組み合わせた「カニ出汁リゾット」を試食し、円山CMBと福井YEGとの新たな協働の一例を体験しました。味については高評価の意見も多く、今後の参考となりそうです。



12月度例会

平成30年12月19日(水)、AOS SA6階研修室にて12月度例会「SDGsからビジネスと社会環境の変革を考える」を開催しました。

SDGs(持続可能な17の開発目標)をヒントに、変革し続ける社会環境の狭間で、自身の事業やサービスがこれからのようなアクションを起こすことが出来るかについて考えました。

講師の榎原氏によるファシリテーションで、カードゲームを通じてSDGsについての概要を体感しながら学び、経済・社会・環境の3つの軸の関係を視点に、個人ワーク、グループワークを行い、12年後の2030年に自分たちの仕事はどのような変化をしているか?その変化に対してどのようなアプローチが出来るのか?メンバー各自での思考を深めることができたのではないかと思います。

ます。

委員会メンバーもあまり聞き慣れなかったSDGsが、例会においても少し難しいツールかと危惧しましたが、思っていた以上に参加者の皆さんが広い視角を持ってワークに取り組み、自身の事業におけるアクションを導き出していたことが印象的でした。榎原氏からも、これからのSDGsについての活動にいろんなヒントを得ることが出来て良かったとお言葉を頂きました。

社会や環境の変化の間にビジネスの視点を持ち、YEG会員各々の多様性をしっかりと活かしたい、これからの活動がより豊かになる例会となりました。



12月定期総会

平成30年12月26日(水)、福井商工会議所ビル地下国際ホールにて、福井YEG平成30年度12月定期総会を開催しました。総務・PR委員会副委員長であり、日本YEG出向者でもある小前田副委員長のYEG宣言にて開会。

本総会での審議議案は、第1号議案 2019年度福井商工会議所青年部役員選出(案)について

て、第2号議案 2019年度福井商工会議所青年部基本方針(案)について、第3号議案 資格規程改正(案)についての3件。いずれの議案も慎重な審議のもと無事に可決承認されました。

朝田次年度会長予定者からの次年度基本方針(案)説明においては、スローガン「Be a Leader!」自分を磨き、積極的な交流を通じて磨き合おう」が発表されました。次年度福井YEGの方向性と次年度会長の決意が示され、ここから次年度に向けた準備の動きもさらに活発になっていきます。



1月度例会

過去を慕い、今を發展させ、
未来に繋げよう!

平成31年1月30日(水)、福井商工会議所コンベンションホールにて、1月度例会「過去を慕い、今を發展させ、未来に繋げよう!」を開催しました。本例会は、五十嵐会長のスローガン「基本方針にある「YEGism」の継承と今後の福井

YEGをみんなで考えることが目的です。そして今回の例会には、福井県のトップである福井県知事西川一誠様が、ご公務で忙しい中ご臨席くださいました。

第1部では、トップの視点から「YEGism」を考えるとということで、福井YEGの会長経験者6名と西川知事に登壇して頂きました。福井YEGがどうあるべきか、どの様な想いでトップを務めたか、リーダーの資質とは何か、トップにしか語れないことを語られました。西川知事からは「目の前の仕事や事業にとらわれないで、30年・50年先のこどもや孫の次世代に目を向けてほしい」との話を頂きました。我々青年経済人がリーダーとかなければならないと感じました。

第2部は、自分がトップに立つて今後の福井YEGをどうしていきたいかを考えるグループディスカッションを行いました。同世代でグループを組み、西川知事もテーブルに加わり、活発にそれぞれの思いを交わしました。参加者の価値観や潜在している福井YEGへの思いを知ることができ、相互に良い刺激になったと思います。漠然としていた思いが志として明確になり、行動に移すヒントを得られたのではないのでしょうか。



2月度例会

平成31年2月27日に福井商工会議所地下コンベンションホールにて2月度例会「福井YEG 轍」WADACHIism」を「キャリア教育事業の進化の種づくり」を開催しました。

本年度、轍「WADACHIism」を「福井YEGキャリア教育とは」を一年とし、5月例会にて認識の統一、8月えきまえアントレ・キッズ事業を(社会人基礎力を基に構成した授業の構築)実践の場とし、9月にはインタビューシツプ事業に参画しました。そして11月例会「キャリア教育の本流に触れる」では、時代とともにキャリア教育に変化が起きている事を実感し、我々青年部のキャリア教育に対する取り組みも、さらなる進化を目指すなくてはならないと確信しました。このように1年間を通した取り組みから得たものを踏まえ、本例会では全会員でキャリア教育事業の進化の種を考えていただきました。宮本先輩・山口先輩も参加して頂き、第33代宮本歴代会長から次年度朝田会長までの歴代会長にも1つのグループになって、進化の種を考えていただきました。次年度以降に繋がる例会になったと思っております。

会社チカラ取材班

今年度の会社チカラ取材班は12月の大安禅寺

編、2月の株式会社ザカモア編の2回開催いたしました。

大安禅寺編では、大安禅寺の拝観・座禅体験を行い、座禅体験では座禅の仕方から丁寧に教わり、自分と向き合う時間となりました。その後の玄峰和尚の法話では、「自分の人生の運転者は自分の心、人生の主人公は心」など、示唆に富んだお話をいただきました。

株式会社ザカモア編では、「スタッフ第一主義」をモットーにされてる同社を訪れ、人材育成や業務の効率化など、お客様サポート・商品・物流の部署それぞれ取り組みをお聞きし、整理・整頓・清潔の社内環境を整え、スペースを有効活用し、社員からの改善提案を積極的に採用するなど、社員とのコミュニケーションと細やかなマニュアル化について大変学び多い取材となりました。



福井YEG名物開発プロジェクト

カニのガラ出汁を使った名物開発プロジェクト、カニ出汁ラーメン、カニ出汁おでんとこの3年間でつづけられてきたプロジェクトですが、今

年度は武生YEG 40周年記念の「YEGフェス」にて、カニ出汁そうめんを開発し出店しました。開発には会員の田畑くんが尽力し、そうめん出汁とおこわを試作しました。また、商品化に向けて検討では、カニ出汁おでんが有力で、鯖おでんを開発・販売している「Kishmo 小浜」のヒアリングなどを行いました。



平成30年度福井YEG PR活動(福井YEGニュース)

福井YEGではこれまでも様々な広報活動を行って参りましたが、今年度は福井YEGの「すごい」を発信するべく、年間で計10回の「福井YEGニュース」動画を製作し、公開してきました。

今年度PR活動の進化のポイントは、YEGと地域との関りにフォーカスすることで、地域との相互理解や双方向コミュニケーションを深め、福井YEGのブランド向上を図ること。その為に、会員の声だけではなく、福井YEGの事業に関わる地域の方々の姿や声を盛り込みながら、福井YEGの「すごい」魅力や活動を紹介していく。

というところですよ。

「ふくい春まつり お堀の桜舟」からはじまり「フェニックス祭り 馬威し水かけ祭り」や「まちキッズ」といった、地域の皆さんと関わる事業をテーマにしたり、「福井YEG会員紹介」と銘打って、福井YEGの会員企業が生活のすぐそばにあることを紹介するドラマ仕立ての動画を製作したり。毎回多くのリアクションをいただき、Facebook ページのフォロワー数増や Web サイトの閲覧数増につながりました。また、福井YEGという組織が地域に親しむ団体であることや、会の雰囲気の良いもお伝えすることができました。YEG以外の知人から、このニュースをきっかけにYEGについて話をふられる機会が増えたという会員もたくさんいます。

組織の認知度や信用度が上がったことは、この活動を通して得られた貴重な財産です。この財産を活かし、福井YEGはますます魅力的で地域からも親しまれる団体として今後の活動に取り組んでいくことでしょう。

今年度の福井YEGニュースは福井YEGのウェブサイトに掲載されております。ぜひご覧ください。

(<http://www.fccl.or.jp/tyeg/tyegnews/index.php>)



「数字で見る福井 YEG」



この特集では、『福井 YEG はどのような団体であるのか?』ということをも、数字で読み解いていこうという企画になります。

福井 YEG に関する様々な数字を見ることで、福井 YEG がどのような団体かについてより深く知っていただけたらと思います。

※データに関しては、2019年3月1日時点のものとなります。

1. メンバー数

123名

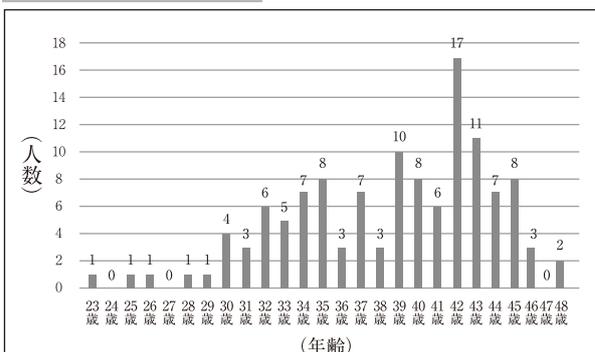
各種業界の若手経営者、後継者、企業からの派遣等の方々で構成されています。

全国の他の YEG と比較しても、123名というメンバー数は多い方であり、活力ある団体として各種の事業を行なっています。

2. 男女比 男性：115名（約93%） 女性：8名（約7%）

女性の社会進出が当然となった現在、女性会員の割合も徐々に増えてきております。女性会員の YEG での活躍も目立っております。決して女性会員が入りづらい会ではありませんので、女性会員の加入は大歓迎です。ご入会をお待ちしております。

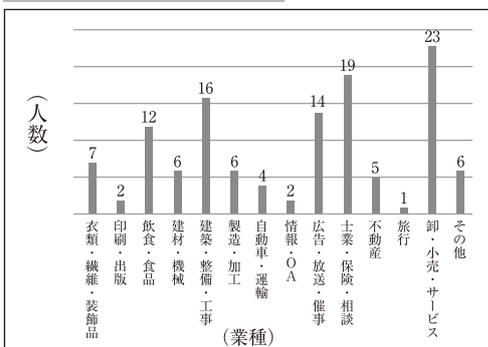
3 会員の年齢構成



YEG に入会資格があるのは、福井市及びその郊外に住居又は事業所を有する商工会議所の会員事業所の経営者又は後継者で、満 20 歳以上満 45 歳未満の方になります。

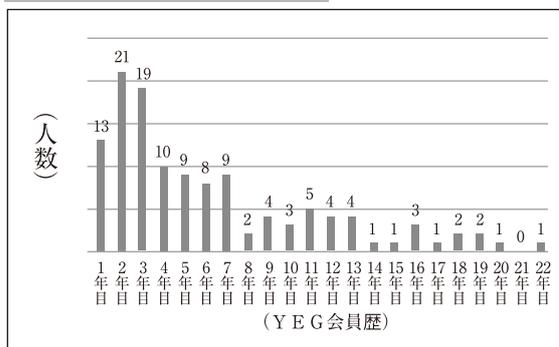
30 代・40 代が中心となって活動している団体であり、同年代の仲間を作りやすい団体になっています。

4 会員の業種別構成



YEG 会員の業種は多種多様で、あらゆる業種のメンバーが参加しております。YEG 活動を行うことにより、多くの他業種の仲間を得ることが出来ます。

5 YEG への入会歴構成



福井 YEG に入会してから 7 年目くらいまでのメンバーが多くなっております。これは、YEG が定年制の団体であり、原則として 45 歳で定年となっているためです（但し、5 年を上限とする延長制度あり）。現在の五十嵐会長は YEG 入会から 22 年目であり、まさに福井 YEG の歴史を知る男であります。

■ 『すげいぜ！ YEG！』 ランキング



今年度、総務・PR委員会では「すげいぜ！ YEG！」をスローガンに掲げて活動を行なってまいりました。今回の特集では、「すげいぜ！」という福井 YEG の会員を知るために、Google フォームでアンケートを実施し、多くの会員の方に投票とその理由を書いていただきました。ありがとうございました。

その投票結果について、会報の特集としてまとめさせていただきましたので、お楽しみいただけたらと思います。

なお、1位となられた方からは、受賞コメントとして、受賞した感想や自分のようになるためにはどうしたらよいかアドバイスなどをいただいています。ぜひとも参考にしてください。

1 福井 YEG で、一番税金を納めて世の中に貢献してそうな福井 YEG 会員は？



高木 秀樹 24 票

投票理由

- ・今年度会社を売却したから。2つの会社を経営されていたから。
- ・率直に、ブルジョアだから。
- ・シャンパンを開けるスピードが他と違う。



細川 正人 7 票

投票理由

- ・根っからの起業家！。



小前田 宙 6 票

投票理由

- ・何事にも動じない余裕な雰囲気を感じられる。



＼1位の高木さんの受賞コメント／

『マジメにビジネスで稼ぎ、お金を運用して不労所得を積み上げる。
ロバートキヨサキ著書（金持ち父さん）を読んで実行すること』

2 福井 YEG で、一番おもしろい会員は？



坂口 雄介 21 票

投票理由

- ・アイデア、トーク、すべてにおいて別格。
- ・愛嬌のあるキャラクターに加え、その場を和ますユーモアやセンスを持っておられる。
- ・入れておかないとすねそうだから。



榎原 右章 5 票

投票理由

- ・いい感じでチャライ。



勝見 泰久 3 票

投票理由

- ・普通にしてておもしろい。



＼1位の坂口さんの受賞コメント／

「この度は会員の皆様より、一番面白い会員に選んで頂きありがとうございました。
この部門で選んで頂けなければ、精神的に深い傷を負いながら YEG を退会する覚悟でしたので、ひとまず安堵しております。皆さんの選考理由を拝見していると、一部でイラッとする面もございますが、今後当会にて必要とされる会員であるよう引き続き精進して参ります。本当にありがとうございました。」

3 福井 YEG で、一番異性にモテそうな会員は？



中川 知士 10票

投票理由

- ・カッコいい。男気がある。
- ・なにやっても様になりますね。
- ・数々の伝説を振り返ると、もてそうというよりもてる。



山岸 保喜 6票

投票理由

- ・オシャレでイケメンだから。



高木 秀樹 3票

投票理由

- ・経験や教養もあり、知的センスに加え見た目もオシャレでダンディ。



＼1位の中川さんの受賞コメント／

『念願であった、一番異性にモテそうな会員の第1位に輝きました、L&P 中川でございます。常日頃から愛と情熱を持ち続けていた事が、1位の要因かと考えます。皆様も常にL&Pを胸に持ち続けてね♡』

4 福井 YEG で、一番上司にしたい会員は？



北出 慎吾 21票

投票理由

- ・仕事もトークもでき、周りの状況をしっかりと把握してそう。
- ・社員をよく見てる 下のものの意見を尊重する
- ・人の伸ばし方を知っているから、部下になると成長できそう



山村 直主 5票

投票理由

- ・頼りがいがあり、筋の通っている意見に感じるから。



五十嵐 嘉紀 3票

投票理由

- ・大きなものを持っていると感じる。



＼1位の北出さんの受賞コメント／

『人材育成は会社における重要事項だと思っているので一人一人の特徴や強みを伸ばすことを意識しているかな。上司の仕事は、いかに楽しく仕事をしてもらうか、部下のモチベーションをどう上げるかだと思っているのでそのための仕掛けや言葉がけを実践。もちろん、厳しいことも伝えてますよ。』

5 福井 YEG で、ミスター or ミス YEG といえる会員は？ (福井 YEG といえぼこの人という人)



森 淳一郎 8票

投票理由

- ・将来は間違いないでしょう。期待を込めて。
- ・「趣味 YEG」と言い切れるくらい、YEG ライフをエンジョイしてるから
- ・青年部の仕切りの秀逸なところですね。



菊 祥行 1票

投票理由

- ・一番 YEG のことを考えている感じがする。



五十嵐 嘉紀 1票

投票理由

- ・福井 YEG を愛している。



＼1位森さんの受賞コメント／

『若輩者の私の名前があがるとは大変恐縮ですが、とにかく YEG を楽しもうと積極的に活動に参加していることを評価していただけたのかなと思います。でもそれって、福井 YEG のみんなが最高だから楽しいんです！だから頑張れるのです！なので、この1位はみなさんのおかげです。いつもありがとうございます ^^』

卒業生の言葉



石川 裕夏

福井YEGに入会したのは、今から18年前の平成13年。県外出身の私を温かく迎え入れて頂いたことを、つい昨日のことに思い出します。入会以降、イタリアE'ふくいや市民会議、全国会長研修会ふくい会議や周年事業、YOSAKOI、ITCHOライやアントレキッズの立ち上げ、足羽川の桜のお箸の販売事業など、多くの事業に関わらせて頂きました。これらの素晴らしい事業を、YEGの多くの仲間と創り上げたことが今も私の誇りです。

YEGとはいったい何なのか。ある先輩からは、「YEGとは学校でいう部活動」と、よくわからないことを言われ、また他の先輩からは「枠にとられない自由な発想で、新たなことにチャレンジできる場」、「時に叱られる場であり、自己研鑽の場」などと言われてきました。結局のところ、YEGの定義は、自分自身の関わりのおかげで決まるものであり、私にとってのYEGとは、『志を同じくする仲間との触れ合いのなかで自分自身が磨かれ、自己変革ができる場』でありました。このような福井YEGとの素晴らしい出会いに感謝します。

本当にありがとうございました。



工藤 紀昌

福井YEGに入会して14年間大変お世話になりました。この会は人として大きく成長させてくれた場所でした。

異業種の集まりだからこそ言える事、言えない事など、どれも勉強の日々でした。

歴代会長のスローガンの元はその年の方針が決定していく分けですが皆様が一丸となって事業に邁進していく姿には感動しました。

ここで学んだ事はいつかきつと自分に返ってくると思っていて日々精進してまいりたいと思います。THANK YOUでした。



藤田 清彦

私は、平成24年度に入会させて頂きました。

- H 25 新入会員・まち・ひと活性化委員会
- H 26 副委員長・誇り溢れる地域(まち)づくり委員会
- H 27 副委員長・キャリア教育推進委員会
- H 28 委員長・人財育成委員会+未来ビジョン委員会(県連)
- H 29 副会長・シン・キャリア教育委員会
- H 30 総務・PR委員会

人となりが、明日をつくる。この言葉が私の青年部活動の始まりでした、入会当初より歴代会長や福井で活躍されている経営者の方といろんな

話をさせて頂きワクワクし次の青年部活動の日が楽しみで待ち遠しかったことでした。一步一步自身を高め自己を磨くということ青年部に入っていないければ忘れていたかもしれせん。会社の経営者として組織のトップとして進むべき道を指し示す本當の意味について真剣に考え、常に進化し続けるという熱い気持ちを持って様々な事業に取り組むことで未来を変えたいということも肌で感じる事ができました。新しいことに挑戦すること自分の限界を決めず、より大きく成長できました。強い意志を持って決断し行動すること忘れません。YEGで出会えた皆さまは一生の仲間です。

最後に福井YEGの今後益々のご発展と会員皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げ卒業のご挨拶とさせて頂きます。感謝



松村 嘉久

平成28年度11月という中途半端な時期に入会させて頂き初年度色々な活動に参加させて頂きました。44歳で入会したこともありどうしていいかわからないまま参加していましたが飛躍成長委員会の皆様に助けていただき楽しい経験をさせていただきました。卒業延長の制度があることをお聞きし、もう少しYEG活動を経験したいと思っておりましたが、本業が忙しくなり委員会等に参加できないことが多くなりこの度卒業することを決めました。不動産管理業に従事しているものとして「福井の活性化」のお手伝いが出来ればとの思いからYEGに入会させて頂きました。

残念です。ただ、一年足らずの活動への参加でしたが、志の高い皆様との交流は企業人として非常に刺激を受けました。私のYEG活動は志半ばで終了することになりましたが、皆様のご活躍を今後も応援させて頂く所存です。本当に有難うございました。



室田 高義

青年部の皆さん、今まで大変お世話になりました。

あまり活動に参加しないにも拘わらず、久々に参加した時には温かい言葉をかけて頂き、大変感謝しております。

お蔭様でYEGには楽しい思い出しかありません！

いろいろな事を学び、自分自身も成長させて頂き、さらに多数の友人まで作らせて頂いて、こんなに素晴らしい団体はないと思います。

時間が経つのは早いもので、あっという間に卒業の時期になってしまいました。

メンバーの皆様には、この素晴らしい団体を盛り上げ、もっともっと素晴らしいYEGにして頂きたいと思います。

今後OBとして協力出来る所は、お手伝いさせて頂きたいと思えます。

会員の皆様と出会えて本当に良かったと思えます。皆様のご健康と益々のご活躍を心より願っております。



山岸 範之

平成16年4月にYEGに入会して早15年。入会当時はYEGの良さも、福井のことも何も知らない私でした。YEGの雰囲気馴染めず、半ば幽霊会員のようになっていた時期もありました。しかし、慣れないながらも委員会や例会・各種事業に参加しているうちに、多くのメンバーと意気投合し、ゴルフや旅行にも行くようになりました。そう、ようやく私にもYEG内に「居場所」ができました。

平成28年度に会長を拝命した時も、私はメンバーの皆さんに「居場所」を作って欲しいと考えていました。45歳定年という限られた時間の中で、たった100名のメンバーが巡り会えたという奇跡を大事にして、目一杯切磋琢磨し、輝き合える組織。自然と「居場所」ができ、お互いが笑顔で時間を共有できる組織。YEGはそんな組織であると思えます。これも、多くの先輩方からYEGの良さを引き継ぎ、そして駅伝の櫂のようにその思いを繋げていくことよって、この「居場所」が広がっていくと思えます。

福井YEGは素晴らしい組織です。かけがえない「居場所」を作れる組織です。福井YEGの一員であることの誇りと自覚をもって、これからもYEG活動に邁進していただけることを祈願します。

最後に、このような私を指導していただいた多くの先輩方、一緒に時間を共有した多くのメン

バーにお礼と感謝を申し上げたいと思えます。ありがとうございました！！

平成30年度 委員長コメント



総務・PR委員会
委員長
森 淳一郎

この1年間を振り返り、真っ先に思い浮かぶ言葉は「感謝」です。今年の総務・PR委員会では、実質2つの委員会分の職務を1つの委員会で担当しました。そのようなハードな委員会活動をやり遂げることができたのは、副委員長をはじめとする委員会メンバーのみんなが一緒になって汗をかき、労を厭わず力を発揮してくれたおかげです。いや、本当に大変でした。笑 みんなしんどかったと思います。それでも最後まで委員会を支えてくれたメンバーに、心から感謝の気持ちを伝えたいです。

そんな数ある担当事業の中で最も大変だったのは、やはり「福井YEGニュース」でしょう。ほぼ毎月、全10回のニュース動画を製作し福井YEGの魅力発信して参りました。この製作過程においては、たくさんの方の福井YEGメンバーが携わってくれたことが、まずとても価値あることだったと思います。そして、このPR活動を通して地域との相互理解や双方向コミュニケーションを深めるという年度初めの目的も、少なからず実現することができました。それは、この活動に対する組織外からの多くの反応をみればわかりま

す。今年度の職務分掌には「提言活動に対する準備」が挙げられていましたが、活動前後で福井YEGに対する認知度・理解度が確実に上がったことは、今後提言活動を行っていくうえで重要な組織としての信用と発言力」の面で基盤づくりに貢献できたと考えています。

最後に、入会3年目と経験の浅い私を委員長に抜擢くださり、様々な面でご指導くださった執行部の皆さまに心から感謝申し上げます。ここで得た経験を、必ず今後の福井YEGのために活かしていきます。ありがとうございました。



ビズレボ委員会
委員長
坂田 守史

今年度を振り返るにあたって、まず思い浮かべるのが、委員会配属希望調査の委員長コメントで「おもしろいことしかやりたくないの」と書きましたが、まさにおもしろいことしかしなかった1年でした。途中から暴君と呼ばれたり、わがまま委員長（いい意味で）とか、人を追い詰める癖があるとか、ドSとか言われたりしましたが、久しぶりの委員長を思いっきり楽しませてもらいました。これに関しては私のキャラクターをふかしく理解してくれている佐々木副会長あつてのことで、本当に感謝しています。

おもしろいことというのは、わからないこと、知らないこと、でも確実に今後のビジネスに役立つことです。「イノベーター視点」「ダイアログ」「SDGs」例会で実践したそれぞれのテーマは、不

確な社会といわれる現在を生き抜くのに必要なものです。

また、基本的に委員会メンバーの学びのためにやるというのがスタンスでした。ビジネスを考える担当委員会がおもしろく学びになるということは、会員全員にも同じことがいえると思います、考え抜き、企画変更を繰り返し、直前までブラッシュアップし、例会中でも内容変更するという各担当副委員長には無茶ぶりもしましたが、楽しんでもらえたと思っています。最後になりますが、会員のみなさん、今年度のビズレボ委員会の事業おもしろかったですか？楽しんでもらえていたなら幸いです。ありがとうございました。



じいひ委員会
委員長
清水 孝行

平成30年度ひとつづくり委員会の委員長を務めさせて頂きました清水孝行です。約1年前、思いがけない出来事が重なり委員長に就任しましたが、ようやく年度末を迎えることができ安堵しております。

ひとつづくり委員会は、五十嵐会長が基本方針にて示す「YEGism」（個の進化、組織の進化、コミュニティの進化を目指す姿勢）を考え、実践、継承し、今後のYEGの行く末を考える委員会です。「YEGism」や「今後のYEGを考える」など、言うは易しですが、具体的にどの様な事業を実践していくかは難題で、大いに悩み、副委員長の皆様と何度も基本方針や活動方針を読み返し、毎月

の様にファミレスで深夜まで議論しました。生みの苦しみは相当であったと思います。

そういった中、ひとつづくり委員会は、福井YEG会員皆様、それぞれのことをより理解し、組織としての絆やまとまりを深めることを一つのテーマとしました。これは、集団としての絆やまとまりが、個の進化、組織の進化、コミュニティの進化を目指す上での基本であり、集団のまとまりが無ければ基本方針の言う全ての進化は叶わないと考えたからです。

具体的な活動内容は、会報福居にある活動報告等を参照頂ければ良いのですが、いずれの事業も、事業ごとの主たる目的を最重要視しつつ、「いかに会員のことを知ることができるか」というテーマは落とさずに事業を展開しました。7月例会は、「福井しあわせ元気国体」及び「福井しあわせ元気大会」の参加予定選手や関係者の皆様をお呼びし、スポーツで交流を深めつつ、一方では、武生YEGの皆様を交えて9マスで相手のことを知るパートを設けました。11月事業は、他コミュニティで活躍するYEG会員をパネリストとし、他メンバーがどのようなコミュニティで活躍しているかを知り、コミュニティと協働を図る重要性を全員で議論しました。さらに、1月例会では、西川知事が臨席し、歴代会長、現会長らに、福井YEGが今後どうあるべきか、どんな想いでトップを務めたかを語って頂き、会員に対して、自身が会長であればYEGをどうしていきたいかを考えて頂きました。

いずれの例会、事業も、会員の皆様のためになり、楽しいものになるか、悩みぬいて構築した内容です。突如として福井県知事の参加が決まるな

ど、本当にイレギュラーなこともありましたが、1年間を振り返ると、委員長を務めさせて頂きとても良い経験であったと感じています。委員会メンバーの中には、私が委員長となることを前提として、ひとつづくり委員会を希望したわけではない方もたくさんおられたと思います。また、私としても、委員会メンバーに対する個別の対応が十分ではない点が数々ありました。その様な中でも共に議論して事業を構築して頂いた副委員長の皆様をはじめ、力を貸して頂いたひとつづくり委員会の皆様には本当に助けられました。委員長を務めると、本当に人に助けられているなど実感します。至らぬ点が多々ありましたが、本当にありがとうございました。



轍 WADACHI

委員長

山村 直主

委員会

振り返れば、平成27年度入会・新入会員委員会、28年度・新入会員委員会副委員長、29年度・魅力発信委員会副委員長と走ってきたYEG活動。本来ならば29年度で卒業でしたが「やりたい事があり、やるべき事もある。」この思いから一年延長。「これからは毎年卒業年度、悔いのないYEG活動にするぞ！」と思っていたところに、なんと、昨年魅力発信委員会委員長・副委員長という関係であった、天野副会長からのキャリア教育担当委員会委員長の打診：即答でした。「やりたい事」

の中のひとつ、キャリア教育委員会活動！副会長には本当に感謝です。

そして始まった平成30年度。活動方針・職務分掌をクリアする為に、どうするべきか悩みました。何故か多忙な委員会メンバーに恵まれ、少数での委員会活動が予想されたため、こなしにならないようにとすべての事に意味を持たせ、年間計画をしっかりと立てなければと熱くなっていたことを今でも思い出します。

5月例会はメンバー全員の認識の統一、えきまえアントレ・キッズ事業は新たな仕組みづくり、夏季キャリア教育事業は「10年後の福井暮らしを学生が意識する」新たなインターシップの実施、11月例会は、キャリア教育コーデイネーター全国大会と同会場にてオープン例会を開催、締めめの2月例会にて新たな提案や次年度への継承と、計画通りに事業を終えることができました。

委員会を支えてくれたメンバーの皆様、汗をかき続けてくれた副委員長、そして心の支えである副会長、本当にありがとうございました。間違いなく今年1年の委員会活動は福井YEGキャリア教育の轍 WADACHI です！



地域とYEGは
ひとつ委員会

委員長
辻 直 樹

今年一年間を振り返ってみると非常に貴重な経験をさせていただきました。年度当初から自分の中での想いが形にならないまま手探り状態の始め、議案も委員会もうまくまとめられず委員会メンバーには大変な迷惑をかけてしまいました。支えていただき何とか乗り切ることが出来た1年でした。

私がまちづくりの事業を構築するうえで心掛けたのは「地域とYEGはひとつとなる」ことでした。「お堀の桜船」では、今まで単独で開催していた事業を時代行列の開催日と合わせることで「ふくい桜まつり参画事業」としての一体感が深まり、またお堀の桜船に新たにドラゴンボートとカヌーを加え、お堀に浮かべました。地元の各協会にご協力いただき、桜カフェと足湯では会員メンバーに本店にご協力をいただきました。

「馬威し水かけ祭り」では、市民が気軽に参加出来る祭りとして昨年の「フェニックス人選び」に続き、「福井フェニックスまつり参画事業」として「市民参加型」のまつりという次代の祭りの在り方を福井市と福井商工会議所とともに構築し、水の確保、会場の確保等に地域の方々にもご協力いただきました。

「まちキッズふくい」では、地元の鉄道を利用して福井の魅力を発見しに行く、福井の郷土料理を自分で実際に料理し福井の魅力を味わう、そんな「すごいぜ！ふくい」を子供たちに知ってもら

うために、えちぜん鉄道他、一乗ふるさと料理クラブの方々にご協力いただきました。

まちづくりの委員会は対外的な事業を行う委員会として非常に多くの行政、地元地域の方々と関わり、「魅力ある地域の構築」が出来る魅力あふれる委員会でした。

この1年間、委員会メンバーには本当によく助けてもらいました。そして、当委員会が担当する事業に参加していただきました全会員の皆様にも感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



絆凛々委員会

委員長
榎 谷 妃 香 里

ちょうど1年前、入会3年目の私が委員長という大役を仰せつかり、どのような委員会にしたいかを模索していたのを懐かしく思います。

私も入会したての頃は、YEGという組織がなかなか理解できず、難しく思うことも多々ありました。しかし、せっかく入会したのだからと思い、例会や委員会には積極的に参加していきま

したので、そしてメンバーと交流していく中でYEGを肌で感じる事ができ、いつの間にかYEG色にしっかりと染まり、自分の居場所ができていました。このような経験をぜひ新入会員メンバーにもしてもらいたい、そんな思いで1年間活動してきました。

始まってみると個性豊かなメンバーばかりで、10月に行われた自己研鑽例会はその個性が生かされた例会になったのではないかと思います。まずは、YEGを知るために、各委員会へのオブザーバー

参加やメンバーへのヒアリングを重ね、新入会員ならではの視点でプレゼンを行いました。内容も様々で、新入会員メンバーの意外な一面を見る事ができました。

自分の苦手分野に挑戦したり、例会で学んだことを自社に持ち帰り実践してみたりと、「個の進化」を感じることができました。何より、YEGにはご縁が溢れています。日々刺激を受ける仲間と苦楽を共にし、何かを成し遂げることで信頼関係が生まれていきます。それが「絆の進化」につながり一生の仲間となるでしょう。

こうして未熟者の私が1年間委員長をさせていただいたのも、副会長をはじめ3人の頼りになる副委員長、愛情とやる気あふれる新入会員メンバーがいてくれたから。そして、いつも相談に乗ってくれたり、他愛もないことで笑いあえるメンバーのおかげです。そんな仲間がいっぱいのYEGが大好きです。本当に1年間ありがとうございました。

平成31年度 会長抱負



平成31年度 会長

朝田 健一

平成31年度スローガン

Be a Leader!!

自分を磨き、積極的な交流を通じて磨き合おう

5月に新元号に代わる平成31年度、福井YEGは昭和、平成と歩んできました。数多くの例会や事業を通じて自己成長や自社の発展、地域の発展に寄与してきました。ただ私の中では、ある程度決まった人でしか関わっていない様な気がします。今日まで、私自身が、積極的な交流を通じてお互いが磨き合う事が不十分、あるいはできていないのではないかと考え、スローガンとさせて頂きました。

平成31年度に行われる近畿ブロック大会越前おの大会の参画や福井YEG創立45周年記念式典の開催、福井県連合大会を福井YEG主管での開催、次の年度には全国大会を福井県で行う事など、福井YEGが注目される絶好の機会がありこれらの機会をチャンスと捉えて、福井YEG内やその他のYEG、他団体との疎遠な人達を意識しながら、積極的な交流を通じてお互いに研鑽し合っって相互成長する事が、リーダーとしての成長

に繋がります。また、我々は特に次世代を含めた相手とともにリーダーシップを発揮し、そしてエネルギーを呼び覚ます、もしくは創り上げる存在であるリーダーになってもらうために、お互いに考えを真剣にぶつけ理解し合い、お互いの特性を活かして補い合う事で、課題を解決し、何かを成し得る事ができます。お互いの自信が着くだけでなく、深く感謝し合い、連帯感や達成感を得ることができます。

会員が積極的な交流を通じて福井を先導するリーダーを目指していく事で、指針の中にあります、文化を伝承しつつ、新しい文化の創造に向かって歩を進められると確信しております。

平成31年度 委員長抱負

総務委員会



委員長

玉村 訓大

単年度制である福井YEGは、基本方針、活動方針の基に毎年様々な例会や事業を実施していますが、運営は変化や慣例を踏襲するだけでなく、規約を遵守することは勿論のこと、事業の実施までの過程において効率化や最適化など時代に適した組織運営を目指す必要があります。また、交流

の機会を自己研鑽の場として有意義なものとしている会員は限られていると考えます。

福井YEGの意思決定機関である役員会や総会の運営に対して、より建設的な議論に時間をかける様に円滑な運営を行います。その為にはこれまでの手法を引き継ぐだけではなく様々な視点から課題を見つめる事で新たな運営手法を模索し改善を行います。本年度は、福井県内で近畿ブロック大会の開催や我々が主管となる会員大会、そして次年度全国大会が控え多くの各地YEGメンバーと交流する機会があります。機会を提供するだけではなく大会の意義や目的、参加することで得られるものを伝播し積極的に参加の意思を表明する会員を増やします。各委員会がどれだけ優れた事業を実施したとしても対外的に認知されなければ内輪だけの活動で終わってしまいます。HPやSNSなどを活用した情報発信を行いより多くの方々に対し活動を知っていただき、共に活動をしたいたいと思う会員の獲得に繋がります。

各種事業には議案があり継続事業は過去の議案を振り返り発展させる事を続けています。何も残っていないのが運営であり、より高みを目指すことは総務委員会の意識だけです。個人の資質を高めリーダーになるだけではなく、福井YEGが県都YEGとしてより高い組織運営を行うリーダーになるために1年間取り組んでいきます。

会社にも総務が必要なように単会運営にも総務委員会が必要です。地域のために行う事業が目の目を浴びるのは当然のことですが、事業を行なう前に自分が所属する会の運営を知ることも重要です。限られた活動期間の貴重な1年を預らせていただきますので、所属メンバーを磨き輝かせ、

積極的な交流のある委員会運営を目指してまいりますので、共に活動していきましょう。

楽しくビジネス委員会



委員長

小前田 宙

私が考えるビジネス系委員会の役割というのは、例会等の事業を通じて、YEG会員が自己研鑽を積み、交流を行うことにより、自社を発展させることのサポートをしていくことではないかと考えております。

昨今はAI等による技術革新により現在ある多くの仕事が無くなっていくことが話題になるなど、ビジネスを巡る情勢は日進月歩で目まぐるしく変化しています。より時代に合わせた自己研鑽や交流を行うことが課題になります。

技術革新が進んでいくことは必ずしも悪いことではありません。技術革新が進んでいけば、これまでは資金力のある大企業しか使えなかったようなリソースを中小企業でも安価で誰でも使えるようになるようになるということです。変化を恐れず、時代に合ったリソースを自社の経営に取り入れていくことが肝要なのです。YEGの指針にもあるとおり、我々は青年経済人として、「先導者たる気概」を持たなくてはなりません。逆に、技術革新が進んでいった場合に、人間にしか出来ない仕事を身につけることがより重要になっていき

ます。例えば、問題解決のための課題を設定することや、人と人とのコミュニケーション等が挙げられます。平成31年度のスローガンは、「Be a Leader」。リーダーシップをとるということはまさに人間にしか出来ないスキルであります。そのため、本年度は、時代の変化にも対応できるように自己研鑽と、リーダーシップを学ぶことができる例会・事業を構築していきたいと思っております。

私もYEGに入会して7年目です。今年度、2回目の委員長を務めさせていただきます。総務委員長（平成29年度）をしたときは、「楽しくなければYEGじゃない」というスローガンを掲げさせていただきました。そのときと基本的には考えは変わっておらず、ビジネスもYEGも「楽しく」やるのが大事ということで、「楽しくビジネス委員会」と委員会名をつけさせていただきました。例会や事業を「楽しく」構築していきたいと思っております。

YEG活動をすることが、自社の発展ひいては地域の発展につながっていくのが、YEGの正しいあり方だと思っております。「楽しく」ビジネスをやって、「楽しく」お金を儲けて、「楽しく」地域貢献をしていくことが出来る委員会活動をしていきたいと思っております。1年間どうぞよろしくお願いたします。

つながり拓く委員会



委員長

吉田 純也

福井YEGに入会された新入会員が初めて所属する委員会として、私達がどのような活動をしている団体かを理解してもらい、各種事業への積極的参加の意義を伝えていきます。また、各種例会等の企画、運営を共に考え行動することで、事業構築の方法を学び、遂行した際の喜びや達成感、福井YEGが持つ強い絆を実感してもらいたいと思っております。

2019年度のスローガンは「Be a Leader」。昨今、福井県内は若者を中心とした県外流出や少子高齢化に伴い人口減少が続いています。U・I・Tを促進し県内定着率向上を図り、定住人口及び交流人口を拡大し地域の活性化につなげていく必要があります。福井YEGも積極的に会員増強に取り組み、様々な交流を深めて団体の活性化につなげていかなければなりません。そのためには、熱い思い（地域愛）を持った次代を担うリーダーの存在が不可欠です。当委員会は、次代を担うリーダー（先導者）の気概を持った青年経済人の育成、各種YEG事業への積極的参加の推進に注力していきます。今年度は福井YEGの創立45周年、福井県商工会議所青年部連合会会員大会を主管、次年度には福井県内でYEG全国大会の開催などを目前に控えた重要な時期です。会員拡大の推進を

強化し、各種事業に積極的に参加する意識の高い会員の育成が急務です。

当委員会のテーマは「一緒にYEGを楽しもう!」。人と人とのつながり、福井YEG内はもちろん、福井県内外の様々なYEGの同士達と交流を深めることにより、人脈や視野が拡がり、自己成長、自企業や地域社会の発展にもつながることを実感してもらえらるような委員会運営を心掛けていきます。また、他の委員会とも交流を図り、様々な気付きを得ながら、新入会員の成長につながる環境を備えます。

福井YEGには共に事業に参加することで得られる経験、かけがえのない仲間との出会いがあります。メンバー個々がリーダーになる自覚を持ち、一歩前に踏み出す勇氣と挑戦する高い志を持って自分を磨く。そして、委員会や例会、各種事業に積極的に参加し多くの人達との交流を通じて互いに磨き合うこと。「福井YEGに入って本当に良かった」と言ってもらえるような楽しい委員会にしていきますので、宜しくお願いいたします。

にぎわい創生委員会



委員長

竹内 亨

にぎわい創生委員会では『ふくい桜まつり事業』と8月例会の夏祭り、12月例会の家族例会を担当させて頂きます。私が感じる事として福井YEG

は福井の地域資源を活用した様々な事業に尽力して参りました。しかし、福井YEGの行動力と企画力は優れていると思っておりますが、交流や協働という点においては他YEG単会との連携や市民団体との交流という面が薄れているように感じております。次年度朝田会長との交流に對して重点を置かれた年度だからこそ、様々な団体が交流出来るような場所を作り出すのも地域リーダーの役割だと捉えて8月例会やふくい桜まつり事業を通じて実現していきたいと思っております。

私は今まで以上に深く様々な団体と協力しながら福井の宝に一層親しみ、郷土を愛する市民が増えることが今後の発展には重要だと考えています。各種諸団体や市民と一体となってまちの魅力を共有し、当事者意識を育むよう運動を展開する必要がありますと考えています。

まずは、より多くの市民が活発にまちづくりへ参画する意識を醸成するため、福井の持つ魅力の前面に押し出し、まちの宝にさらなる磨きをかける事業を開催します。そして、福井市や福井県とも連携しながら、組織の枠を超え様々な団体と事業を行います。また、福井のさらなる発展のため、多方面のまちづくりに関わる意識の高い個人の方々とも連携し、効果的にまちづくり運動を展開できるようにより良い関係性を構築します。

地域のリーダーとなるべく気概を持ち多角的な視点から地域の発展に取り組み我々と、他者への思いやりの心を持ちまちづくりへ積極的に参画する市民が協働し、人々が多く行きかう活気と魅力に溢れる福井の賑わいを創生します。

最後に会員の皆様へは12月家族例会ではより多くのご家族様が参加できるように例会を企画運営して

行きます。しかし、その為にはご参加いただける事が何よりの協力だと思っております。程宜しくお願い致します。私自身も成長できる一年になるように努力致しますので、皆様にもご迷惑や無理をお願いすることが御座いますが、笑顔で対応の程宜しくお願い致します。

F u n キ ャ リ 委 員 会



委員長

見谷 純次

福井YEGにおけるキャリア教育事業は、先輩方の努力により数多くの参加者に経験して頂き、長年継続してきたことにより地域にも関心、周知が広がり、講師依頼などが増加しております。しかし、その一方で、会員の能動的な行動や熱い思いに欠ける部分があり、一歩参加に踏み出せない会員が増えてきており、キャリア教育事業を行うことの意義や目的が十分に理解されていないことが課題といえるのではないのでしょうか。

今般、人口減少・高齢化など働き手不足が問題となっておりませんが、キャリア教育は県外就職や離職率を減少させ、地元福井の魅力を伝え、自企業の発展にも繋げることができ、手法を学べば全会員が簡単に行える事業です。本来は福井YEG全会員が、経済産業省が推奨している【社会人基礎力】にある、「前に踏み出す力(アクション)」にあるように、周りを巻き込み前向きに進んでい

かなくてはなりません。そのためには、なぜ、我々青年経済人がキャリア教育を行っているのかを理解し、行動していく必要がありますし、子供達に熱い想いを持って伝えることもできません。

そこで、本年度、当委員会では、福井YEGキャリア教育事業を行う事による意義やメリットを再確認して頂き、子供達と一緒に、福井の未来に繋がるキャリア教育を目指していきたいと考えてます。

今年度、入会3年目で委員長という大役に就かせて頂き、正直不安でいっぱいです。しかし、昨年度から学んだキャリア教育を経験として引き継ぎ、自分らしく楽しく一生懸命行っていきます。そして、委員会で協力しながら、会員の皆さんが、YEGキャリア教育を更に能動的に行動できるようにしていきたいと思っています。

「Funキャリア委員会」という委員会名は、「楽しくキャリア教育事業を」という意味を込めて付けさせて頂きました。会員一人一人がリーダー（講師）となり、自企業や子供達の笑顔を感じてほしいと思います。キャリア教育に疎遠になってきている方は、一歩踏み出していただきたいと思っています。その一歩前が未来へと繋がっていきます。

45周年実行委員会



委員長

坂田 守史

45周年。福井YEGは新たな門出を迎えます。

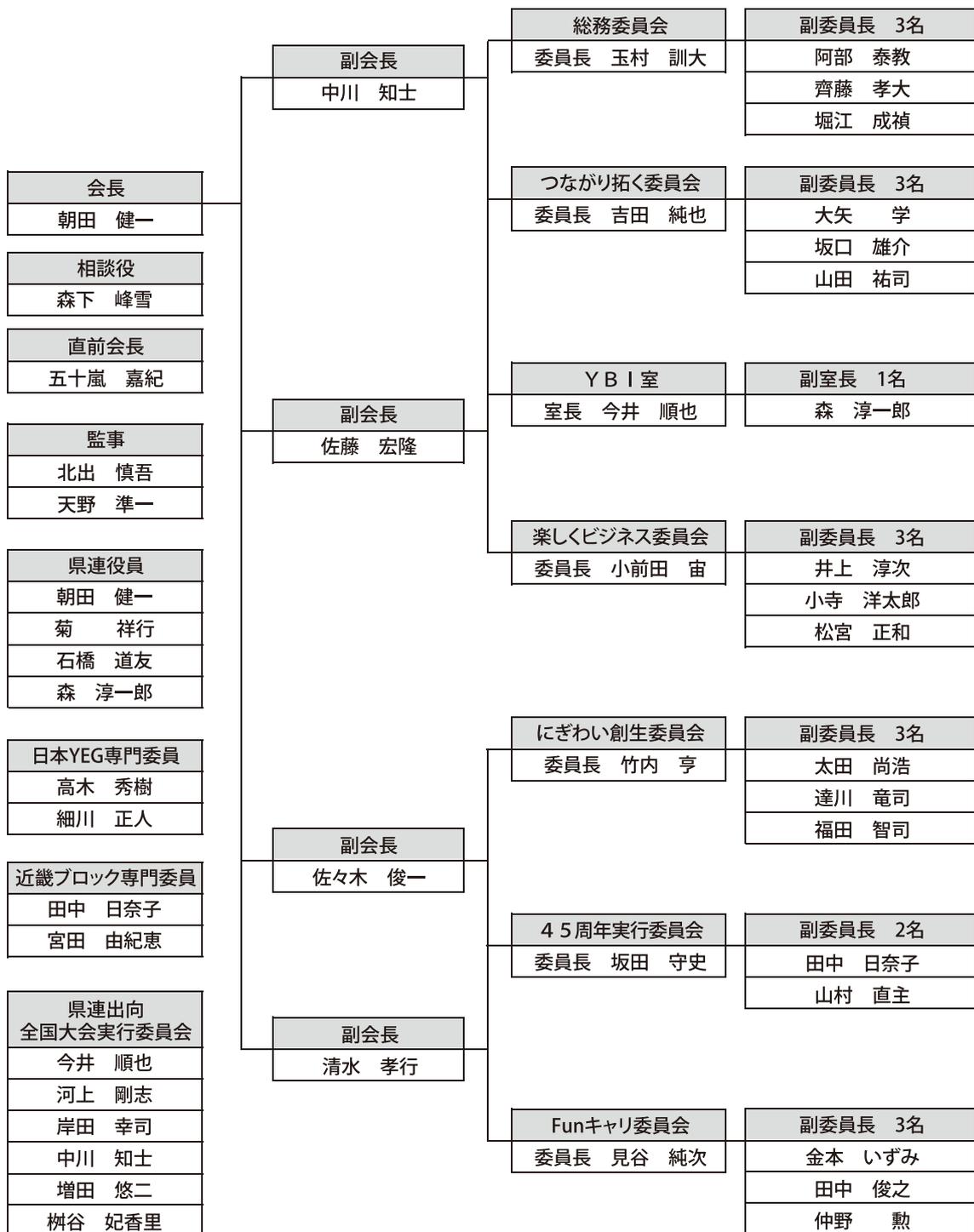
45年という歴史ある福井YEGは諸先輩方がバトンを受け継いできて、今に至っています。先輩の言葉の中で印象的なのは、「YEG内で完結してはいけない、地域に根ざしてはじめて本当の事業といえる」という言葉です。そして「YEG活動では失敗してもよい」というこの二つの言葉は、自らの姿勢を正すとともに、チャレンジする気持ちや常にリーダーとして地域の先駆者的存在である。と、理解しています。今、不確実な社会の到来、新たな社会形成の時代といわれています。こういった時代の中で、福井YEGは何をしていくべきか、ビジョンを掲げそれに邁進していくことが必要だと感じています。

45周年では中期ビジョン策定が含まれていません。中期ビジョンは5年を目標としたビジョンで、今後5年といえば、真っ先に思いつくのが、2025年北陸新幹線開業という福井の姿が思い浮かべられます。ビジネスの変化もあると思います。観光客増加に向けての取組みも考えられます。そういった変化が目前に迫っている中、福井YEGは地域のリーダーであるべき姿を考えねばなりません。ビジョンを掲げ、そのビジョンが実現される事業の構築が必要です。

ビジョンとは見えるようにすることです。5年後どんな姿であるべきか、それを今思い描き、それに向かっていく、バックキャストイングの考え方でビジョンを策定していきたいと考えています。そのためには、まず自らの知見を高め、未来予測していけるか、その情報を収集し、未来の福井をイメージする解像度を高めていく必要があります。鮮明なビジョンをつくる。その覚悟で2019年度全力を尽くしていきます。

45周年実行委員会のメンバーのみなさまに、心に留めていただきたいのは、福井YEGのビジョンを考えるとともに、自らのビジョンや会社のビジョンを考えられるきっかけになると思っております。自らの学びと考えて自分ごととして捉えていただければと思います。それは、会員のみなさまにも同じように言えることです。ビジョンをとるにも考え、その熱量を高めていければと考えておりますので、2019年度なにとぞよろしくお願ひ致します。

2019年度 福井商工会議所青年部 組織図





福井商工会議所青年部会員企業一覧
2019年3月1日現在 / 123名

衣類・繊維・装飾品

(株) E-GANG
(株) ウエマツ
(株) パリ
山田商店
ジュエリー土屋
(株) トウカイフクイ
(株) MAKT crowning

印刷・出版

(有) いたう印刷
(株) 竹下印刷所

飲食・食品

(株) 米五
(有) 堀江商店
蕎麦 Dining 一福
大吉餅
中華四川料理もりた
(株) 天たつ
Bar lu touch
焼肉家 優
(株) 太田屋
(株) やまもと
Grande
(株) f.e.s
(株) 御素麺屋
フードイノベーション(株)

建材・機械

(株) キャンピオ辻万
(株) ダイナテック
福井宇部生コンクリート(株)
ホクコンマテリアル(株)
太田木材(株)
(株) 北川

建築・設備・工事

(株) 石本石材
(株) 太田忍工務店
F i - e l d (フィールド)
(株) ショーセイ
平成電工(株)
(株) 前田美装工業
村上大理石(株)
(株) S.K PLANNING
積水ハウス(株)
石橋建材(株)
(株) Atelier5

建築・設計

(株) エヌアンドシオウ
(株) 松宮設計事務所
(株) サンテン・コーポレーション
大和ハウス工業(株)
(株) 見谷組

広告・放送・催事

(有) 紅青社
(有) タカラアート
(株) トゥエルブ
(株) デザインスタジオピネン
ヒヨコヤデザイン
福井エフエム放送(株)
(株) 福井新聞PRセンター
福井テレビジョン放送(株)
福井放送(株)
(株) ドゥーガブレインズ
(株) ライトスタッフ
(有) L a b ・ L a b
(株) クレドワークス

自動車・運輸

(有) アサダモーターズ
(株) ホンダクリオ福井
(有) マサシ自工
J R 西日本福井支店

情報・OA

サンキ(株)
(有) 詩季

製造・加工

(有) 勝見金箆製作所
(有) 中川鉄工
(株) ナカテック
(株) プロダクト・マイスター
(株) ミテック
北鋼シャーリング(株)
(株) カリヨー

保険・相談

(有) アトラス
今井労務経営事務所
行政書士法人 坪川事務所
北出経営労務事務所
(株) E T E R N A L
清水法律事務所
弁護士法人ふくい総合法律事務所

安田会計事務所
南和彦税理士事務所
ライフスタイルプラス
Ai Support
ソニー生命保険(株)
ジブラルタ生命保険(株)
ブルデンシャル生命保険(株)
上田保険事務所
(株) アイル保険センター
(有) I ・ プラザ
(有) アローズ

不動産

奥田不動産鑑定士事務所
(株) R . E . A ヤマギシ事務所
(株) 宮永不動産
(株) 野澤不動産
森川不動産(株)

旅行・旅館

(株) JTB 中部 福井支店

卸・小売・サービス

(株) 越前かに成前
玩具問屋 大村商店
(株) キシモト商会
(株) アクティブパートナー
(株) クリーニング白洋舎
(株) サイトー電器
酒のタケウチ
(有) 土谷
canvas
トライドゥカメラ
福井精米(株)
ラーナニーニャ
(株) ムラタ
(株) 山岸和紙店
Atolla
(株) オフィスサポート BP
HAIR/MAKE PALIER
(株) 三栄商会
(株) インフォライブ
(株) ユーサイキア リライム

その他

CHARME
カイロオフィス YOU 癒佑
川端段ボール(株)
(有) グラヴィ
スタッフマネジメント(有)
(株) ダイエイ

新入会員紹介



(株)三栄商会

石間 光太郎

コンプレッサーの販売とメンテナンスを中心に工場の様々な省エネ提案をしている会社です。平成30年2月に入会させていただきました。全国大会にて初参加をさせていただきました。大学からずっと県外にいたので経営者の仲間が周りにおらず、困っておりました。YEGに入ってから今まで出会う事ができなかった方々とお話させていただいたり色々な集まりに顔をださせていただき、今までと違う視点を勉強させていただいております。少しでも地元へ貢献できるよう頑張ります。



(株)太田屋

太田 尚浩

初めまして、平成30年度7月より森委員長ご紹介で福井商工会議所青年部に入会させて頂きました。太田屋の太田尚浩です。弊社では福井県内を中心に鯉節の製造及び販売、他食材の間屋業を営んでおります。

YEG活動を通じて人脈形成、自身の成長、そ



株式会社 ETERNAL

大矢 学

株式会社ETERNALの大矢と申します。弊社は複数の保険会社を取扱う、乗合総合代理店です。

YEG入会のきっかけは、福田副委員長の紹介です。

始めは自分が行っている金銭キャリア教育を広められる良い場ではないかと思入会致しましたが、YEGの事業や例会に参加することに、色々な刺激・発見を見つけ、個人が成長出来るところに今はどっぷりハマってしまいました。

これからもどんどん成長して、皆さんと共にYEGや地域の発展に邁進していきますので、よろしくお願いたします。



(株)前田美装工業

岡澤 雄一

平成30年4月に入会させて頂きました。前田美装工業の岡澤と申します。弊社は建築工事の塗装工事から一般住宅の塗り替え工事を主体にして

いる会社です。出身は福井ですが、前職では10年間程全国各地を渡り歩いてきました。

今年から福井に本腰をおいて、仕事と生活を両立していきたい、今後YEGでは沢山の若い仲間とともに福井の為に「まちづくり」や「ひとづくり」をワイワイガヤガヤと楽しくやっていけたら良いと思います。

ふつつかもので、わがままではございますが、どうかよろしくお願致します。



Medical Beauty&CHARME

下田 友美

平成30年6月に入会させていただきました。CHARMEの下田友美と申します。

弊社は、去年7月に開業。肌結果を重視した美容皮膚科クリニック提携サロンを営んでおります。

YEG活動を通じて、会員の方との交流を深め、色々な事業に参加し、経験や知識を得て自己研鑽を高め、福井の地域貢献のお手伝いさせていただきます。けたらと思えます。

まだまだ未熟ものではございますが、日々精神して参りますので今後ともよろしくお願致します。



(有)Iプラザ

中嶋 和広

昨年11月に入会いたしました(有)Iプラザの中嶋和広と申します。

入会後、毎月の例会、あんトレキッズ等、様々な経験をさせていただきました。

YEG活動を通じて得られる経験、人間関係は確実に自分の成長に繋がっていると日々実感しております。

まだまだ未熟ではありますが、積極的に参加し自分の成長ひきまはしては地域経済の発展に貢献していきたいと考えております。

今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



有限会社 堀江商店

堀江 成禎

平成30年5月から、五十嵐会長にお誘い頂きましてYEGに入会させて頂きました、有限会社堀江商店の堀江成禎と申します。

弊社は、福井市内に飲食店を4店舗営んでおります。

YEG活動に積極的に参加して色々な経験をさせて頂き、自分自身を成長していきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。



有限会社 アローズ

水上 侑士

平成30年11月に入会させて頂きました、有限会社アローズの水上と申します。弊社は保険代理業をしております。

お客様からの紹介ということもあり具体的な活動等知らず入会した形ではありましたが、例会や委員会での人との繋がりを通して貴重な経験を得ることができました。

この経験を少しでもYEGに還元出来るように尽力して参りたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。



株式会社 インフォライヴ

水切 弘典

はじめまして、ホームページや映像制作を行っているインフォライヴの水切弘典と申します。この度、ご縁をいただき福井商工会議所青年部に入会することとなりました。

以前より福井商工会議所青年部の事業を目にする機会もあり、福井のまち、ひとを元気にするために尽力できないかと思っております。入会を気に、微力ながらも福井が元気になるような活動に取り組みればと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。



株式会社 カリヨー

吉田 達郎

平成30年4月から入会させていただきました株式会社カリヨーの吉田と申します。弊社はお菓子やパンに使う材料・包装資材・機械を販売している会社です。

入会以来、色々な事業や例会に参加させていただくことにより様々な刺激を受けとても良い経験をさせて頂いていただいております。それが自分の人生においてプラスになっております。その経験を活かし人との繋がりを大切にしながら皆様と今まで以上に活動していきたいと思っておりますので今後とも宜しくお願い致します。

あじさい会通信

平成30年度あじさい会会長2年目の山本清美です。

昨年の事業も会長の独断で(笑)研修旅行を開催しました。

12月1日、参加者10名で東京へ。まずは新しくできた「豊洲新市場」を見学しましたが観光客が多すぎて昼食もとれずひたすら歩くことに・・・豊洲近辺は東京オリンピック選手村の建築ラッシュでした。それから靖国神社正式参拝・遊就館見学。靖国神社は今年で150年を迎え拝殿は修築中でしたが本殿では心静かに格式のある参拝となりました。

夜は懐石料理を堪能しながら先輩方から青年部の歴史を少しだけ学ばせていただきました。2日目は12月大歌舞伎鑑賞。伝統の継承と革新を垣間見る素晴らしい舞台。日本の歴史伝統を学び会員相互の交流が深まった研修旅行となりました。

あじさい会も今年で30年。これからも長く長く楽しい会であればOKです。ね。

青年部の皆様には地域の経済的発展のため豊かで住みよい郷土づくりに貢献され、更なる発展を遂げることを期待しています！



ご結婚おめでとう

小前田 宙 会員



結婚日：平成30年12月22日
配偶者のお名前(ふりがな)：小前田 琴美(ことみ)
なれそめ：樋田君と行った飲み会
相手の呼び方(夫婦各々)：ひろしくん、ことちゃん
ひと言(夫婦各々)：今後とも、仕事と家庭、YEGで力を発揮できるよう頑張って参ります。

こんにちは赤ちゃん

見谷 純次 会員



誕生日
平成30年4月23日
お名前(ふりがな)
見谷 芽都(みたに めい)
ひと言(赤ちゃんから)
お風呂大好き！



西木田通信

青年部事務局2年目を迎えました。今年最も印象深いのは、有志の方々と福井県の事業に同行して中国浙江省を訪問し、これをきっかけに福井県との交流事業が実施できたことです。新たな事業を生み出すのは青年部の真骨頂ですが、それをしっかりとやり抜く底力に改めて胸を打たれました。来年度はいよいよ福井YEG45周年、近畿ブロック大野大会、2020年度には全国大会さばえ大会と、過去に例を見ない青年部YEGARが押し寄せます。ご苦労も多いと思いますが、青年部の力の見せ所ですので、皆さんを支えられるよう事務局もがんばります！ともに駆け抜けましょう。

藤原 卓也

事務局を今年度から務めている柴野です。はじめは皆さんの熱量に圧倒されていました。それぞれの世界で活躍されながらも、日々福井のために知恵を絞り、汗を流す姿が眩しく映ります。福井YEGにしかできないことを実践してきたからこそ、森さんのおっしゃる通り「すごいぜ！YEG」なんだと思います。議案書として文章で表現されていた例会や事業が、福井YEGメンバーそれぞれの個性や経験が化学反応を起こすことで、当日により素晴らしい事業になっているところを目の当たりにしました。福井YEGの皆さんに大変お世話になった1年でした。福井YEGの魅力は今後も発信していきます！

柴野 和也